

② 「説明したい」「聞いてみたい」～考えを広め深める学び合いの工夫

<テーマ>多様な考えを比較し合い、深い学びにつなげる取組（東松島市立大塩小学校）

【ねらいと特色】

児童はこれまで、乗法は「一つ分の大きさ」の「幾つ分か」に当たる大きさを求める場合に用いられること及び、5の段の九九の構成と唱え方を学習してきた。本時は、5の段の乗法が用いられる具体的な場面を×を用いた式に正確に表すこと、学習した「5の段の九九の唱え方」を使って結果を容易に求めることができることに気付かせることが主なねらいである。しかし、「一つ分の大きさの幾つ分」の理解不足が予想されたため、以下の点を工夫した。①図や式や言葉で表現した児童の多様な考えの共通点や相違点等を比較する学び合いを通して、式の意味の理解を深めるとともに、5の段の九九の数理的な処理のよさへの気付きを引き出した。②児童の多様な考えを引き出す課題を設定した。③児童の表情を見取り「全員が納得する」まで学び合わせた。④自力解決やペア学習の際、見通しを持たせる働きかけを行った。⑤具体物や図、シエーマ、式、言葉の関連付けを重視した。⑥「一つ分の大きさ」と「幾つ分」の色分けにより、つまづきを支援した。⑦学んだよさを実感できる「式を読み取る適用問題」や次時につながる振り返りに取り組ませた。

【実践の概要】

